

再雇用規程

[制定 令和6年3月28日
最終改定 令和6年3月28日]

（目的）

- 第1条 この規程は、公益社団法人におい・かおり環境協会（以下「本協会」という。）就業規程に基づき、常勤職員の定年退職者を再雇用するに当たり必要とする事項を定めるものである。
- 2 この規程に定めのない事項については、有期契約職員等に対する就業規程の定めるところによる。
- 3 本規程及び就業規程に定めのない事項については、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律、労働基準法及びその他関連法令の定めるところによる。

（事前通知）

- 第2条 定年を迎える常勤職員を再雇用するにあたり、財政上の問題がない場合には、常勤職員が満65歳に達する事業年度末日の6ヶ月前までに、満65歳定年退職時において、再雇用制度の対象者に該当することが見込まれること又は対象者に該当しないことを事前に通知する。

（再雇用制度の対象者）

- 第3条 再雇用制度の対象者は、本協会を定年退職する常勤職員で、かつ満65歳定年退職時において、次の各号に掲げる要件をすべて満たした者でなければならない。
- 一 定年退職後も本協会に勤務に精勤する意欲のある者
 - 二 継続して勤続5年以上の者
 - 三 過去5年間の勤務評価の結果が各年において著しく悪くない者
 - 四 過去5年間に出勤停止以上の懲戒処分を受けていない者
 - 五 退職前1年以内の定期健康診断を受け又は本協会が承認する医療機関による健康診断書により、要注意以上の所見が含まれていない者
 - 六 自宅もしくは自己の用意する住居より通勤可能である者
- 2 再雇用制度の対象者に該当することが見込まれたものが、満65歳定年退職時において前項の要件を満たさなくなったときは、再雇用制度の対象者に該当しない。
- 3 前第1項及び第2項に該当しない場合でも、本協会が特別に必要と認めたときは再雇用することがある。

（再雇用制度適用の申し出）

- 第4条 再雇用制度の対象者に該当することが見込まれるとして事前通知を受けた者で、再雇用制度の適用を受けようと希望する者は、満65歳の誕生日に達する事業年度末日の3ヶ月前までに本協会に申し出なければならない。

(採用)

第5条 再雇用希望の申し出があった場合は、本人の経験、能力等を勘案し、採用するよう努める。

2 再雇用した職員を継続職員と呼ぶ。

(再雇用時の処遇・給与)

第6条 再雇用時の処遇は、退職前の勤続年数、資格等級等及び退職から再雇用時までの就労経験、能力開発の実績等を評価して決定することとする。

2 原則として職種を維持するよう努める。本人の希望、事業所の業務、人員の状況等を踏まえ、労働日数や労働時間等の勤務条件を決定する。

3 再雇用後の給与は次の通りとする。

一 常勤職員と同一の勤務条件である継続職員は、退職時の俸給の半額とする。

二 勤務時間、勤務日数が常勤職員の勤務条件と異なる継続職員は、協議の上、俸給を決定する。
但し、退職時の俸給の半額未満とする。

三 継続職員に対して、特別手当は支給しない。

(昇進・昇給)

第7条 継続職員に対して、昇進及び昇給は行わない。

(退職金)

第8条 継続職員が退職する場合、退職手当は支給しない。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、理事会の決議により行う。

附則（令和6年3月28日第3回通常理事会承認）

この規程は、令和6年3月28日より施行する。